

プログラム

13:30~13:40	主催者挨拶 山本 幸三 内閣府特命担当大臣（地方創生、規制改革）
-------------	---

第一部（13:40~14:40）

13:40~14:10	基調講演 地域の未来を創る地方分権改革 神野 直彦 地方分権改革有識者会議 座長 東京大学 名誉教授
-------------	--

14:10~14:40	取組事例の紹介 佐藤 栄一 宇都宮市長 木村 俊昭 一般社団法人日本事業構想研究所 代表理事 東京農業大学 教授
-------------	--

14:40~15:00	休憩
-------------	-----------

第二部（15:00~16:30）

15:00~16:30	パネルディスカッション 「子ども・子育て」や「地方創生」の課題にどう向き合うか パネリスト 佐藤 栄一 宇都宮市長 池本 美香 株式会社日本総合研究所 調査部 主任研究員 柏木 正博 大正大学 専務理事 同 地域創生学部 学監 同 地域構想研究所 副所長 木村 俊昭 一般社団法人日本事業構想研究所 代表理事 東京農業大学 教授 玉沖 仁美 株式会社紡 代表取締役 コーディネーター 人羅 格 毎日新聞社 論説委員
-------------	---

内閣府 地方分権改革推進室

所在地：〒100-8970 東京都千代田区霞が関3丁目1番1号 中央合同庁舎第4号館

「地方分権改革」の詳細は、ホームページでもご覧になれます。

<http://www.cao.go.jp/bunken-suishin/>



Twitter「地方分権改革」公式アカウント
https://twitter.com/cao_bunken



Facebook「地方分権改革」公式ページ
<https://www.facebook.com/cao.bunken>

主催：  内閣府

平成29年3月23日（木）
13:30~16:30

会場：銀座ブロッサム（中央会館）
東京都中央区銀座2-15-6

地域の未来を確かなものにするために 地方分権改革シンポジウム



ご参加の皆様へ

地方分権改革の推進は、地域が自らの発想と創意工夫により課題解決を図るための基盤となるものであり、地方創生の極めて重要なテーマです。

これまでの地方分権改革の取組により、地方への権限移譲や国による義務付け・枠付けの見直し等が進むことで、地域課題への柔軟な対応や住民サービスの向上・迅速化が図られるなど、着実に成果が積み重ねられています。

本日のシンポジウムが、「個性を活かし自立した地方づくり」を目指して、それぞれの地域の未来を考える新たなきっかけとなれば幸いです。

主催者挨拶



山本 幸三（やまもと こうぞう）
内閣府特命担当大臣（地方創生、規制改革）

基調講演

※敬称略



神野 直彦（じんの なおひこ）
地方分権改革有識者会議 座長/東京大学 名誉教授

昭和21年生まれ。昭和44年東京大学経済学部卒業。日産自動車株式会社勤務を経て、昭和53年東京大学大学院経済学研究科修士課程修了、昭和56年同大学大学院経済学研究科博士課程単位取得退学。専門は財政学、地方財政論。大阪市立大学助教授、東京大学大学院教授などを経て、平成21年より東京大学名誉教授。現在、税制調査会会長代理、社会保障審議会年金部会会長、地方分権改革有識者会議座長など多数の審議会等委員を務める。

著書に『地域再生の経済学』（中公新書）、『「分かち合い」の経済学』（岩波新書）、『「人間国家」への改革—参加保障型の福祉社会をつくる』（NHKブックス）などがある。

取組事例の紹介

※敬称略



佐藤 栄一（さとう えいいち）
宇都宮市長

昭和36年生まれ。宇都宮市出身。明治大学法学部卒業。社団法人宇都宮青年会議所理事長、社団法人日本青年会議所副会頭、宇都宮商工会議所青年部会長などを経て、平成16年に43歳で宇都宮市長に初当選（現在4期目）。全国市長会関東支部支部長、全国市長会副会長などを歴任。現在、内閣府子ども・子育て会議委員、全国市長会相談役、栃木県市長会会長など。今を生きる市民と将来を担う子どもたちのために、市内外から選ばれた高い都市力を備えた「未来都市うつのみや」を目指した市政運営に日々、取り組んでいる。



木村俊昭（きむら としあき）
一般社団法人日本事業構想研究所 代表理事
東京農業大学 教授

1960年北海道生まれ。1984年小樽市入庁。産業振興課長、産業港湾部副参事。実学・現場重視の視点で地場産業振興、地域ブランド化などを推進。2006年から内閣官房・内閣府企画官、2009年から農林水産省企画官。主に基幹産業の6次産業化、地域ビジネスの創発、地域人材養成と定着などを推進。現在、東京農業大学教授、内閣官房シニアマネージャー（特別参与）、一般社団法人日本事業構想研究所代表理事等として、大学講義のほか、年間120箇所以上で講演・現地アドバイスを実施、木村モデル「五感六育」事業を展開中。NHK番組プロフェッショナル『仕事の流儀 木村俊昭の仕事』、フジテレビ『新報道2001』ほか出演。著書『地域創生 成功の方程式—できる化・見える化・しくみ化』（ぎょうせい）ほか多数。

パネルディスカッション

※敬称略



パネリスト
佐藤 栄一（さとう えいいち）
宇都宮市長



木村俊昭（きむら としあき）
一般社団法人日本事業構想研究所 代表理事
東京農業大学 教授



池本 美香（いけもと みか）
株式会社日本総合研究所 調査部 主任研究員

1989年日本女子大学文学部卒業、同年三井（現・三井住友）銀行入行、三井銀（現・日本）総合研究所出向。子ども・女性に関わる政策の調査研究を担当。2000年千葉大学大学院社会文化科学研究科博士課程修了、博士（学術）。著書に『失われる子育ての時間』（2003年）、編著書に『子どもの放課後を考える』（2009年）、『親が参画する保育をつくる』（2014年）。現在、神奈川県子ども・子育て会議委員、全国認定こども園協会アドバイザー・メンバーなどを務める。



柏木 正博（かしわぎ まさひろ）
大正大学 専務理事
同 地域創生学部 学監
同 地域構想研究所 副所長

1974年、大正大学文学部史学科を卒業後、同大事務局に入局。教務部長、事業推進部長、事務局長等を歴任し、2015年3月より現職。事務局長在任時より同大の地域連携活動を推進し、地域構想研究所の設立を主導。同研究所が発行する総合情報誌『地域人』では発行・編集人／総合プロデューサーを務める。2015年4月より日本私立大学団体連合会高等教育改革委員会「地方活性化（地域共創）問題に関する小委員会」専門委員。



玉沖 仁美（たまおき hitomi）
株式会社紡 代表取締役

幼稚園教諭を経て、1988年にリクルート入社。日本各地のモノづくり・観光事業・人材育成事業等、地域コンサル事業に携わる。初代沖縄支局長を経て沖縄県に出向し、沖縄県キャリアセンターの立ち上げに従事。その後、じゃらんリサーチセンター初代センター長に。独立後、2008年に株式会社紡を設立。産品開発をテーマとした人材育成事業、地域資源を活かした地域産品や観光事業の開発を手掛ける。2016年に株式会社しまつむぎを島根県隠岐の島町に設立。内閣府、総務省、農林水産省、国土交通省等、審議会委員などを務める。著書「地域をプロデュースする仕事」（英治出版）



コーディネーター
人羅 格（ひら ただし）
毎日新聞社 論説委員

北海道札幌市生まれ。札幌北高校、東北大学法学部卒業後、85年毎日新聞社入社。仙台支局を経て政治部へ。政治部官邸キャップ、同副部長などを経て現職。政局取材を主に担当。地方自治を専門領域とし、政府の地方分権改革有識者会議専門部会委員。東京都明るい選挙推進協議会委員。